

土田誠一

1月号

2024.01.01

[制作]

令和5年度
矢島高等学校
2年A組

土田誠一の誕生と生涯

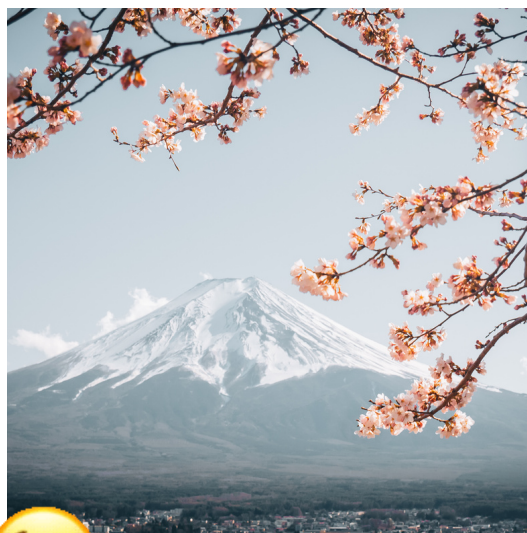
土田誠一は、1887年の明治時代に生まれました。この年は日本初の総理大臣に伊藤博文が就任した年でもありません。また、留学するために勉学に励み、現在の秋田大学・筑波大学・東京大学などを卒業し、成蹊高校の校長や大学教授などを務めました。

矢島の天才



当時の日本の世相

土田誠一が活躍した時代の日本は、産業や工業が発展し近代化が進んだ一方、関東大震災や世界的な経済の低迷などもあり、人々の暮らしには大変な苦労がありました。この頃、現在の矢島高校の前身である矢島町立農業補習学校農業専修科ができました。



編集後記

土田誠一という矢島の素晴らしい偉人について調べることができてとても光栄に思います。矢島の歴史について引き続き調べていきたいと思っています。

編集担当

高橋 未来矢

藤原 平羅

歴史の町「矢島」

土田誠一は故郷をとっても大切にすることで、矢島に戻った際には歴史資料を集めたり矢島の若者に歴史を熱心に教えたと伝わっています。

矢島は「歴史の町」と言われますが、人々にそう思わせる功績を残したのは、言うまでもなくこの土田誠一でした。